

鹿島市民文化ホール SAKURAS の特徴について

まず大きな特徴は、ホール内がループ状で繋がっていること。

中でも客席のポイントが以下の 2 つです。

1. 上手側にある通称「もみあげ席」
2. ステージをぐるりと取り囲む「バルコニー席」

1. 全国的にも珍しい「もみあげ席」

上手側に「もみあげ席」があり、ホール内で 1 階から 2 階へダイレクトに移動できます。ステージに立つ者からの視点ですと、ステージから「もみあげ席」へとフラットにアクセスが可能という特殊な作りですので、演出面でも SAKURAS ならではのアイデアが生まれそうですね。お客様はもちろん、舞台を作る表現者たちにとっても十分に刺激的な場所ではないでしょうか。

この「もみあげ席」、実は音が良い隠れスポットなのではないかとのこと。今後、ぜひ皆様の耳でお確かめいただければと思います。

2. とっておきの「バルコニー席」

通常の客席とは反対側に座ることができるので、例えばオーケストラ公演では、通常見ることのできない指揮者の表情を楽しめますし、またプレイヤーの動きをつぶさに見ることができます。演奏家たちの息遣いでさえも感じられるこの席で、新たな視点と共に存分にステージを楽しめるはず。演奏する側からすると、このバルコニー席があると「お！今日は見られているな！」とちょっと気が引き締まるものです。

751 席あるホールなので、座る場所によって様々な見え方と響きの違いを存分に楽しめます。

唯一無二の作りですので、ぜひ足繁く通っていただき、お気に入りの席を見つけていただきたく思います。

音響設計にこだわった SAKURAS の響きについて

数々のコンサートホールの音響設計を手掛けるプロにより響きにこだわって設計されているので、演奏する我々としても安心です。

クラシックコンサートに適した、ステージ高さ 15m の天井が確保されているのが大きなポイント。また、壁や天井は固いコンクリートそのまま、これがステージで出した生の音を適度に客席に音を返す役割を果たし、豊かな響きを楽しめるようになっています。

演奏する側としても、豊かな響きを利用して演奏できるのは大きな利点。ぜひ多くの演奏家の皆様にこの SAKURAS の響きを体感していただきたいです。

客席天井からの自然光による演出（ハイサイドライト）

SAKURAS のホールにはもう一つ大きな仕掛けがあり、それが客席天井にある九角形のハイサイドライト。実は天井に窓があり、リモコン操作でカーテンを開けることで、天井サイドの窓から自然光を取り込むことが可能です。これもまた唯一無二の作りではないでしょうか。

通常のコンサートホールは昼も夜も変わらない空間ですが、この SAKURAS はハイサイドライトを開けることで、自然光の柔らかな光が客席に差し込むようになっており、さながら神聖な教会のよう。客電が必要ないほど明るくなります。また時間帯によって光の入り方が違うので、これもまた演出のアイデアを掻き立ててくれそうです。

この記念演奏のお話をいただいた時から、サクラスに最初に刻む音は「音楽の父バッハ」の作品にしたいと心に決めていました。

客席の電気を落とし、自然光に包まれた新しいホールの客席、そして新しいスタインウェイのピアノ。SAKURAS ならではの演出とバッハのコラール「目覚めよと呼ぶ声が聞こえ」で、故郷鹿島に誕生する新ホールの幕開けをお祝いさせていただきます。